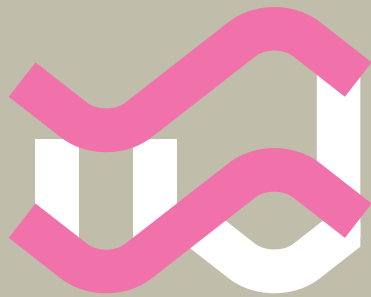


～「アートプロジェクト」を支える人のための勉強会～



ADVANCED PROGRAM FOR  
ARTS AND CULTURE

SHIZUOKA  
Study

静岡県文化プログラム

# SHIZUOKA Study

「静岡県文化プログラム」はこれまで、社会や地域課題にアートを掛け合わせたプログラムを県内の団体とともに展開してきました。公募で集まった各団体に伴走しながら支援を行ってきたコーディネーターが、県内の文化・芸術活動、特に「アートプロジェクト」のより一層の充実を願い企画したものです。

「アートプロジェクト」の多くは身の回りにある小さな想いから始まりますが、それを活動として形にしていく時には様々な要素が絡んできます。企画書・予算書制作から、資金調達、広報、決算まで、実践向けの勉強会「SHIZUOKA Study」を開催いたします。



ADVANCED PROGRAM FOR  
ARTS AND CULTURE

SHIZUOKA

静岡県文化プログラム

[shizuoka-ac.org/info/study](http://shizuoka-ac.org/info/study)

# SHIZUOKA Study

対象：地域でのアートプロジェクトに関心のある方。アートプロジェクトに関わっている、または今後実践しようとしている方。

## SHIZUOKA Study キックオフ・トーク

### 「日頃の想いから立ち上げる文化・芸術活動」

2018年9月8日(土) 14:00～16:00

グランシップ 4F会議室

ゲスト：井上泉(シズオカオーケストラ代表)、

久保田翠(認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長)

定員：50名(先着順) 参加費：無料(要事前申込)

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツは、団体立ち上げから18年目を迎える現在まで、障害福祉と文化・芸術を行き来する様々な事業を通して社会への問いかけを続けています。シズオカオーケストラは、様々な職種のメンバーとともに、まちをテーマとして、人に焦点をあてた丁寧な活動を、プロボノ的に展開している2014年に設立した団体です。

事業化していく、時間を有効活用する等、地域と関わる文化事業の在り方にひとつの正解があるわけではありません。「Shizuoka Study」のキックオフに際し、活動のスタンス、規模、組織形態が異なる二団体の代表をお迎えし、日常生活の中での想いが起点となった活動の立ち上げから、その後の展開に焦点を絞って話をお聞きます。



井上泉(いのうえ・いずみ)

シズオカオーケストラ代表

静岡市生まれ。2014年より、まちづくりのプロジェクト「シズオカオーケストラ」を主宰。静岡をテーマに語らう飲み会「グリーンドリンクス」や、静岡で開催されるイベントを訪れる県外客を公民館やお寺を活用した即席ゲストハウスでもてなす「みんなのnedocoプロジェクト」など、豊かなまち・持続可能なまち・平和なまちに向かうきっかけとなるような企画を仕掛けている。 <http://shizuoka-orchestra.com/> (静岡県文化プログラム2015年度文化資源調査、2016年度モデルプログラム採択事業実施)



久保田翠(くぼた・みどり)

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長

1962年生まれ。東京芸術大学大学院修了。ランドスケープデザインの仕事に従事後、長男の出産、子育てをきっかけに、2000年にクリエイティブサポートレッツ設立。2004年NPO法人化。2014年認定NPO法人化。2010年障害福祉施設アルス・ノヴァ開設。2014年たけし文化センターのヴァー公民館開設。2016年「表現未満」プロジェクト開始。2018年浜松市中心市街地にたけし文化センター連尺町オープン。2017年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。 (静岡県文化プログラム2015年度文化資源調査、2016年度モデルプログラム、2017・2018年度静岡県文化プログラム提案プログラム実施)

## SHIZUOKA Study 1

### 「想いに見える化してみよう」～企画書・予算書の書き方～

2018年10月20日(土) 14:00～16:00 / グランシップ 4F会議室

まずは、想いを書いてみる。

第三者に伝わる魅力的な企画書と予算書を制作するためのノウハウを習得します。

講師：静岡県文化プログラムコーディネーター

## SHIZUOKA Study 2

### 「プロジェクト実現にはお金も大事」～ファンドレイジング～

2018年11月23日(金・祝) 14:00～16:00

グランシップ 908会議室

資金調達には様々な方法があります。あなたが関わるプロジェクトに、助成金やクラウドファンディングなど、どんなものが適切か考えてみましょう。

講師：山田心(認定NPO法人芸術と遊び創造協会法人部 部長、東京おもちゃ美術館ディレクター)

## SHIZUOKA Study 3

### 「活動を伝えるため気にしておきたいこと」～広報とデザイン～

2018年12月8日(土) 14:00～16:00 / グランシップ 4F会議室

活動を伝えるためには、自分たちのことを知り整理することが大事です。

一見当たり前なことで、あらためて意識してみよう。

講師：坂本陽一(静岡県文化プログラム広報アートディレクター、グラフィックデザイナー)



山田心(やまだ・しん)

認定NPO法人芸術と遊び創造協会 法人部部長

2004年より芸術と遊び創造協会に参画。新宿の廃校を活用した「東京おもちゃ美術館」設立の際に寄付金制度「一口館長」や、疑似私券の発行するなど、開館資金1億円以上の資金調達に成功。沖縄の姉妹館設立の際にはクラウドファンディングを実施し、「READY FOR OF THE YEAR」大賞を受賞。2014年には支援者のお金にとどまらない関係構築手法が評価され「日本ファンドレイジング大賞」を受賞。100を超える企業や自治体とのコラボ企画を進めるなど、革新的な運営を行っている。

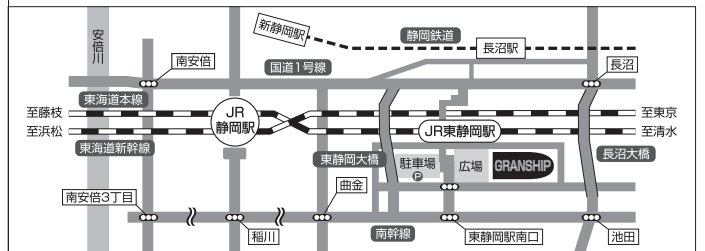
## SHIZUOKA Study 4

### 「継続していくために重要なこと」～会計と決算～

2019年1月19日(土) 14:00～16:00 / グランシップ 1002会議室

今後継続していくために事業における実務作業の全容を知り、会計の基本を理解しましょう。

講師：静岡県文化プログラム推進委員会(コーディネーター・事務局)、公益財団法人静岡文化財団



### お申込み方法

以下の必要事項をご記入のうえ、いずれかの方法でお申込みください。①お名前 ②年代 ③所属 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦参加希望回 ⑧ Shizuoka Studyに参加して得たいこと(※キックオフ・トークのみ参加の方は必要ありません)  
 応募先：(a) 応募フォーム [http://shizuoka-ac.org/info/study\_oubo]、(b) 往復はがき [〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1 グランシップ1F]、(c) FAX [054-283-8086]、(d) E-mail [info@shizuoka-ac.org] 宛名：静岡県文化プログラム「Study係」宛

**定員** 各回30名(先着順) **参加費** 無料(要事前申込) ※1回だけの受講も可 **応募締切** 各回の1週間前(但し定員に達し

次第、受付終了) **主催・お問い合わせ** 静岡県文化プログラム推進委員会 TEL: 054-204-0310 (9:00～17:00/平日のみ)



静岡県文化プログラム オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけの祭典ではありません。オリンピック憲章では、「オリンピックはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を促すもの」とうたわれ、競技大会の組織委員会が「文化プログラム」を実施することが定められています。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた文化プログラムは、スポーツ競技が行われる地域だけでなく、日本全国で展開されることになっており、静岡県文化プログラム推進委員会は、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題対応を目指して、様々な団体等との協働による取組を進めています。